

## 抽選方法の説明

今回申込みを受け付けた東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会記念貨幣(第四次発行分)及び千円銀貨幣コンプリートセットについては、抽選対象数を超える多数のお申込みがありましたので、次のとおり抽選を行います。

### 【申込状況及び抽選対象数】

区分	東京 2020 パラリンピック 競技大会記念 一万円金貨幣 (第四次発行分) 「聖火ランナー」と「国立 競技場」と「心技体」	東京 2020 オリンピック 競技大会記念 千円銀貨幣 (第四次発行分) 「ボクシング」	東京 2020 オリンピック 競技大会記念 千円銀貨幣 (第四次発行分) 「レスリング」	東京 2020 オリンピック 競技大会記念 千円銀貨幣 コンプリートセット	東京 2020 パラリンピック 競技大会記念 千円銀貨幣 コンプリートセット
申込数	256,328個	249,838個	249,837個	186,364個	147,526個
販売数	40,000個	100,000個	100,000個	10,000個	10,000個
抽選 対象数	36,000個 (※1)	81,000個 (※2)	81,000個 (※2)	9,000個 (※1)	9,000個 (※1)
当選 倍率	7.12倍	3.08倍	3.08倍	20.71倍	16.39倍

(※1)「抽選対象数」は、「販売数」から、海外販売用等を控除した抽選対象となる数量を示す。

(※2)「抽選対象数」は、「販売数」から、コンプリートセット用、海外販売用等を控除した抽選対象となる数量を示す。

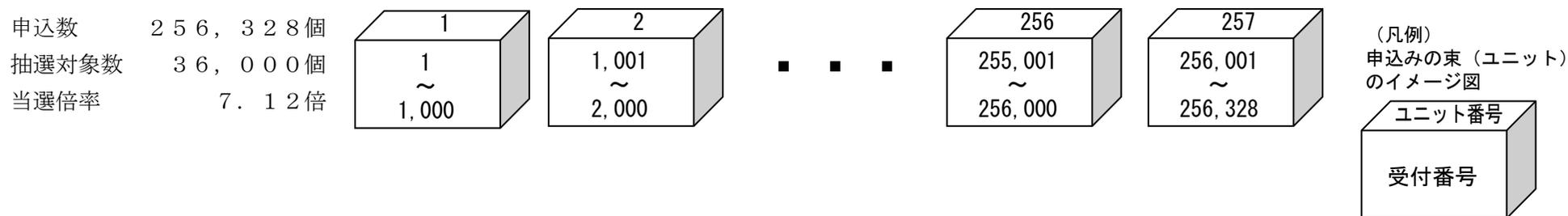
### 【抽選方法例】(東京 2020 パラリンピック競技大会記念一万円金貨幣)

- ① 全ての申込み(はがき及びオンラインショップでの申込み)に「1」から順番に受付番号を付します。なお、オンラインショップでの申込受付は、はがきでの申込みにした最終の受付番号の次から受付番号を付して整理しています。これらの受付番号1,000ごとを1ユニットとし、その順番をユニット番号とします。
- ② 最初に、受付番号の下1桁の当選番号を決定します。  
「0」～「9」の番号を付けた10個のボールを、中が見えないようにしてある箱の中に入れ、抽選者が、その箱の中から1個のボールを取り出す方法により行います。当選番号は、そのボールの番号を優先順位第1位とし、以下の優先順位は、その番号に順次1を加えた数とします。なお、この際、「9」の次は「0」とします。
- ③ 次に、申込みの整理順による不公平をなくすため、抜き取りを開始するユニット番号を決定します。  
「0」から「2」までの番号を付けた3個のボールを「青色(百の桁)」の箱に入れ、「0」から「9」までの番号を付けた10個のボールを「黄色(十の桁)」及び「赤色(一の桁)」の箱に入れ、それぞれの箱からボールを1個ずつ取り出す方法により行います。
- ④ ③により決定されたユニット番号から、②で決定された当選番号の順に、受付番号の下1桁の番号が当選番号と一致する申込みを順次抜き取り、36,000個目までを当選とします。
- ⑤ 36,001個目以降の申込みは、キャンセル等が生じた場合の補欠とします。

(参考) 抽出例 (東京 2020 パラリンピック 競技大会 記念一万円金貨幣 (第四次発行分)  
「聖火ランナー」と「国立競技場」と「心技体」)

※東京 2020 オリンピック 競技大会 記念千円銀貨幣 (第四次発行分)「ボクシング」、「レスリング」及び千円銀貨幣コンプリートセット「オリンピック」、「パラリンピック」についても、同様の方法により抽選を行います。

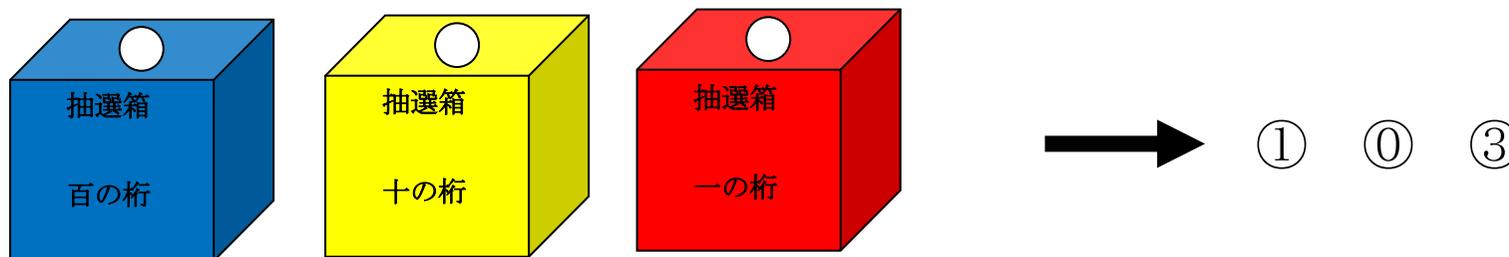
① すべての申込みに1から順に連番を振り、1, 000ごとを1ユニットとします。



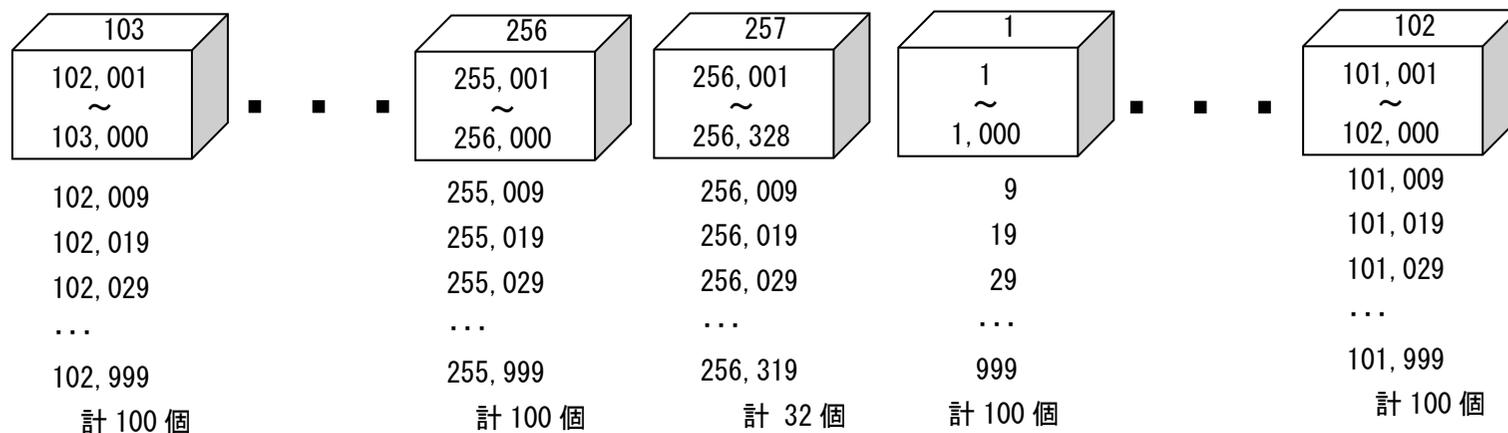
② 当選番号を決定するために、「赤色 (一の桁)」の抽選箱から1個、ボールを取り出します。



③ また、抽出を開始するユニット番号を決定するため、「青色 (百の桁)」、「黄色 (十の桁)」、「赤色 (一の桁)」の抽選箱から各1個、ボールを取り出します。

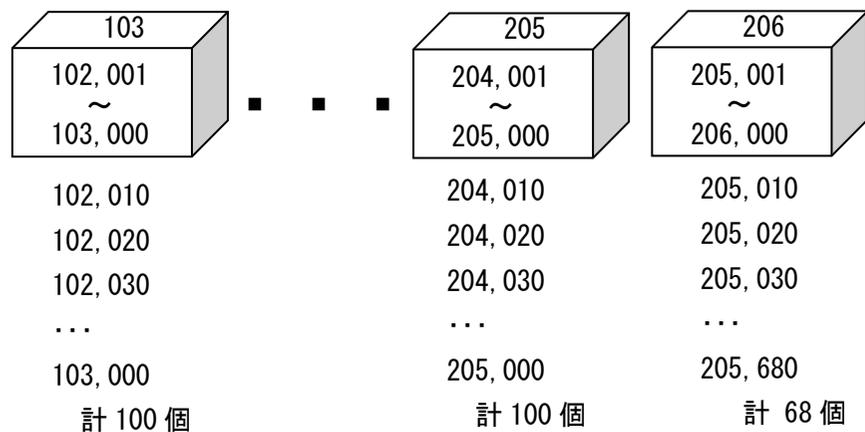


④ 抽選されたボールの番号により、ユニット番号103番から、順次、下1桁9番の申込みを抜き取ります。



小計 25,632個

⑤ さらにユニット番号103番から、順次、抽選対象数の36,000個となるまで、下1桁0番の申込みを抜き取ります。



小計 10,368個

累計 36,000個

⑦ ユニット番号206番の受付番号205,690番以降の申込みについては、キャンセル等が生じた場合の補欠となります。